

●夏原グラント 助成金目録贈呈式4月15日（土）クサツエストピアホテル

午前10時より深田、大村、森島の3名が出席。式典で助成金目録が深田理事長に手渡されました。この日、贈呈を受けたのはプレゼンに出席した20団体のうち18団体でした。ちなみに申請団体は25団体ということだそうです。里山の会の申請内容は、里山農園周辺のナラ枯れが進み、大きな枝が枯れ落ちるなどが頻繁に見られ、ヘルメットが必要になりました。今後倒木や落下枝によって人命にかかわる事故も想定されるようになりました。農園での作業安全が脅かされる危険性が年々増加しているので、危険性除去のために太さ0.3m高さ15m以上の大木の伐採を行って、農園作業の安全性のアップを図ることを目的にした助成金申請です。巨木の伐採を“木こりさん”に依頼する経費支援をお願いしました。申請金額は49万円としましたが、交付決定金額は約半分の20万円との決定通知が届きました。事業規模の縮小も考えて、緊急性のある場所に限定して伐採を行っていただきました。これで万一の事故の発生は除去できたと思われます。できるだけ早く倒した原木の運び出しとなります。自重があつて、扱いもなかなかむつかしく苦労が伴うものですが、雑草が茂りだす前に運び出したいと思っています。

●木津川植物花写真集 再編集を行いました

当初よりページ数が減少しましたが写真枚数が約800枚となり、木津川の植物標本確認数917種の87%を掲載できました。編集前には9割弱までカバーできるとは思っていませんでしたが、木津川植物の集大成として恥ずかしくない作品に到達できました。全ての写真精度を全く落とすことなく印刷をいたしました。完成が待ちどおしいところです。

里山の会として2017年を代表するカスミサンショウウオの成体発見とならんで木津川における植物に関する金字塔にふさわしい「木津川植物花写真集」です。里山の会のすごい成果物が一つ増えました。長年のご苦労に感謝いたします。

●尾根筋ハイキングコース（京田辺市の最高峰に登ろう）

案内看板の足元が老朽して腐朽倒壊しました。16日（日）、有田、森島、大村、小川さんによって朝から緊急撤去を行いました。この看板はハイキングコースの新設に伴って近鉄三山木駅と天王バス停そして水取バス停付近の3か所に設置した手作りの大変しっかりした重い物です。再生して再び働いてもらいたいと思います。

●第23回通常総会「やましろ里山の会」招集状発送

社員各位は万障繰りお繰り合わせのうえ、ご出席をお願いします。4月23日（土）午前10時開会 やましろ里山の会「里山農園」教育棟で開催。先日、床板の修復や大きくかぶっていた竹藪の整理が進み随分と景色がよくなりました。新緑芽吹く中で新年度の方針と新役員の選出を行います。普通会员には、参政権はございませんが、発言の機会は保障されていますので、お気軽にお越しください。

●いよいよ木津川植物花写真集の再編集が進み完成が近づく

すごい写真枚数で撮影原版そのままの映像で出来上がる まさに生の写真で、これまでにない成果となっています。印刷製本の再編集で、一冊5万円の単価となります。非常に高価なものですが、この値段に負けないボリューム満点の花写真です。ご購入を希望者される方は早急にメール、ファックスでご連絡ください。追加発注いたします。

ファックス=0774-64-4183 メールアドレス=fddb257@ybb.ne.jp に送信ください。

●里山の会の実績を映像で残すことが重要 ハイキングコース（京都 TV で放映）

カスミサンショウウオ成体の動く姿を撮影（里山の会・野村さん撮影）、里山農園経営及び各種イベント（野菜栽培 開墾復旧の歩み ナラ枯れ木伐採 農園マップ）、オオムラサキ観察（15 年連続観察調査 産卵撮影）、竹蛇籠（製作と設置 調査観察）、木津川生育植物の標本化（標本作品 希少植物の観察管理作業）、木津川の水質調査（22 ヵ所と 7 年目の実施）、絶滅植物の発見（レンリソウ）絶滅寸前種の発見（フナバラソウ、オオバクサフジ、イヌハギ、タコノアシ、ツルフジバカマ、マキエハギ、アサザ）、発刊物（はなごよみ 800 冊、木津川の草花たち 5000 冊、京都府植物目録ノート。京都府植物誌目録ノート・資料集、木津川はどんな川、木津川生育植物標本写真集、木津川植物花写真集 30、里山の自然 42 号 400 冊、里山の会週刊ニュース 665 号）は、とすごい成果が山盛りです。そのほか環境大臣、京都府知事、近畿整備局、淀川河川事務所）から表彰があり、これらを映像化し、新しい後継者や新入会員への贈り物にすることが求められているのではないかと提起されています。

●自然環境保全京都府ネットワーク主催の「雲ヶ畑・足谷」での第 1 回交流会が 30 日に開催

集合は烏丸北大路・南東角に集合、8 時 30 分に発車する「もくもくバス」について行く。あるいは 9 時 00 分に雲ヶ畑岩屋橋に到着ください 先着 40 名となります。申し込みは **FAX075-861-2349** です。記載内容は、住所 氏名 職業 電話番号を記入して送信ください。現地の案内ガイドの関係で先着 40 名の受付です。午前中は自然観察を行い、午後から交流会で保全や地域との連携を考えあいます。

●昨年一年間の草刈り作業に要した日数や時間はいくらぐらいだったでしょうか

木津川グランドは周囲の刈り払い機の使用前に不法投棄やごみの除去、残り竹や笹の取り除きに 1 日（西側の藪際）、そして東側の前作業に 2 日の合計前作業に 3 日間が必要です。

こうして前作業を行ってやっと自走式ハンマーモアで約 10 時間の連続作業を終えて完了となるのです。約一週間の時間となります。駐車場の場合も下準備が大変です。里山農園だって、あぜ道の斜面の草刈りは一番体力が必要です。刈払い機の振り回しがつかれます。1 号地から 9 号地、10 号地から 15 号地、16 号地から 20 号地、と 3 つのブロックでそれぞれ 4 日間合計 12 日は草刈りに必要な日数となります。それでも完全に刈り払いが完成したとは言えません。そして炭焼き小屋も 3 日間はかかります。特に炭焼き小屋はハンマーモアが使えないので、刈った後の野草の始末がまた大変です。これが一巡するのに必要な草刈り業務です。月に一度は行わなければなりません。夏になると、こんなに集中して時間が取れないので、暑さもあるので、早朝から 8 時過ぎまでが作業時間となります。9 時からは事務所での事務処理となります。

農園の場合は栽培作物があるので、能率本位で草刈りができないのです。これを知っていただいて除草のお手伝いに来てください。よろしくおお願いいたします。